(6)高 井

（宇陀市榛原高井～榛原赤埴甲）

宮田家前を直進すると約2Kmで室生寺の南門といわれる仏隆寺へ。4月中旬には樹齢900年を越えるともいわれる「千年桜」が花をつけ、秋には彼岸花が彩りを加える。ここから唐戸峠を越えて約5.7Kmで室生寺に至る。詳しくは宇陀市観光課TEL 0745-82-2457へ

地図内凡例
道標など
地蔵など
常夜灯
その他文化資産等
神社・仏閣・城址など
案内板
まちがえやすい分かれ道
トイレ

細い方の道を直進

未舗装の道へ

この部分は次ページをご覧下さい

53 新しい伊勢本街道の道標

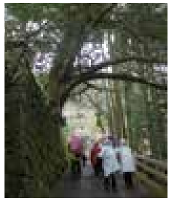
国道から坂を上がり民家前を直進して杉林に入る。擁壁の直上を通るので注意が必要

56 新しい伊勢本街道の道標

右の坂を上がり宮田家の前を通るのが旧道

57 宮田家

玄関の上に「女人高野室生山之図」の絵馬額を掲げる


58 松本家の榧の木

元治元年(1864)まで旅籠を営んでいた松本家の石垣から突き出ており、幹に注連縄が巻かれている

59 松本家

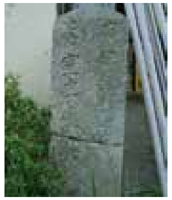
天明元年(1781)の建物で「御宿松本重蔵」の看板が残る。「宿」の字に人偏が無いのは牛馬も泊める意

54 三基の道標

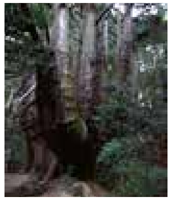
右側は仏隆寺、中央は室生寺、左側はいせみちと室生寺を指す。左の道標は100m先の分岐から移設

55 太神宮燈籠

慶応二年寅十月建立「御代官 武運長久」「五穀成就」と刻む


60 松本家の道標

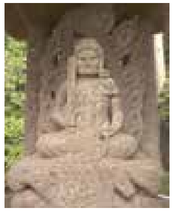
「右伊勢道 左室生山弘法大師 是ヨリ五十丁余」天明元年(1781)のもの。1里は36丁


61 高井の千本杉

井戸の周りに植えられた杉が根元で癒着したもので県指定の天然記念物。根周りは35mを超える

62 津越家

旧旅籠の大津屋といい立派な大和棟の旧家


八滝から平井大師山へ

壬申の乱の際、大海人皇子(のちの天武天皇)を助け軍功をたてた文祢麻呂の墳墓が八滝集落の奥にある。高井バス停からは約4Kmで、手前の五社神社には江戸末期の石工、丹波佐吉の狛犬があり、ここから四国八十八か所霊場の石仏群がある平井大師山までは徒歩約1時間

63 万葉歌碑

倭の宇陀の真赤土のさ丹着かばそこもか人の吾を言なさむ

64 三叉路の道標

津越辻にあり「壬 享保七年(1722)右いせみち 寅二月廿一日」と刻む

65 行悦道標②

「はせよりこれへ三里 回國供養 是より宮川え十八里半」と自然石に刻む